

令和4年度
「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
学びのセーフティーネット機能の充実強化事業 成果報告会資料

【高等専修学校生が社会に定着するための
教育現場のCT活用による学びの創出事業】

学校法人豊野学園 豊野高等専修学校

背景

長野県の不登校生の在籍比率は
全国でも比較的多い

【本校の特徴】

●不登校経験者数は県内の高等学校と比較して、4倍の割合にある

📍 不登校経験者の改善率は

6割から1割に減

●何かしら支援や配慮が必要な生徒の在籍(令和4年度)

障害者手帳あり 14%

特性+診断+支援要 86%

【課題】

- 構築済みシステム等は環境が変わると機能しづらくなった
- 専門科目カリキュラムが実社会と合致していない
- 生徒が思う安心で安全な学校にはまだ近づけていない
- 進路の後追い実態のばらつきや弱さ
- 経験値向上の機会の減
- 企業認知度の低さ
- 進路指導や卒業後の属人的対応
- 個別支給のICT端末に代わる情報ツールの不足

【めざす】

教職員が現代社会の変化に柔軟に対応できるしくみをつくる
「安心安全で学びやすく自分を好きになれる学校環境整備」

5つの柱の
活動概要

困り感を抱える子どもを
支えるための
自治体との連携

困り感がある生徒・家庭への情報発信/協議・検討

学校のあり方・運営検討

～学校体制の改革と構築～

とよせん未来会議

- ①マネジメント層と職員の溝が無くなるための対話 ②グランドデザインの全職員との創作と浸透目的のMTG
- ②働きがい調査実施と検証

自己評価軸

「ロードマップ」の実証

- ①冊子「ロードマップ」の活用
- ②生徒・職員へのアンケート

誰もが相談しやすく学校で支える
しくみづくり(公式LINE)

- ①在校生・教師用「教育相談申し込み」の実証・検証→7/22登録推奨
- ②支えやすい体制の再構築
- ③全校生徒へ相談しやすさアンケート

卒業生を支える
しくみの検討

- ①校内検討
- ②卒業生から在校生に向けた講演

カリキュラム策定

- ①専門科目4教科での実証講座
(服飾ウォーキング、情報プログラミング、美術デジタル技術、介護フットマッサージ等)
- ②近隣専門学校・企業の訪問調査
- ③企業・学校への調査継続

事業評価委員会

相互的な作用と事業効果検証
事業評価委員会 3回実施予定

学校のあり方 運営の検討

とよせん未来会議 / 自己評価軸

R4年度活動まとめ

今年度の活動まとめ資料【学校の在り方・運営検討】

実施概要

CONTENTS

- ✓ 安心安全を作るための職員同士の対話の機会の設置
- ✓ 外部識者を入れたプロジェクト進行
- ✓ 生徒に成果が起きてるかの定量的観測
- ✓ 職員の状態の定量的観測と対話の機会
- ✓ 生徒の声を聴く機会の設置



安心安全を作るための 職員同士の対話の機会の設置

昨年度の事業実施の課題から

やっている内容がわからない

教育理念
学校教育目標
行動指針を
設定して欲しい

企業ではなく
学校変革の経験者の意見も
入れたらどうか？



”とよせん未来会議”

全職員対象の対話の機会を設定



安心安全を作るための 職員同士の対話の機会の設置



会議の目的明確化

とよせん未来会議を設定する上で昨年度からの課題を踏まえた会議設計を行った。全職員対象ということもあり、通常業務の忙しさを加味した会議設計を行い参加を促した。目的を明確にし、毎会議の冒頭で必ずこの事をリマインドする事をルールとした。その為「何のための会議であるのか？」に毎回立ち戻ることができ、会議の形骸化を防ぐことが出来た。不参加の職員に対しても毎回議事録を発行することで会議の孤立化を防ぐ努力を行った。

全12回で通年で行う

マネジメント層と職員の溝がなくなりはじめたことで職員が働きやすく働きがいがある状態が作られはじめる

教育理念や学校目標、行動指針が全スタッフに浸透したことで学校や生徒の未来について対話の機会が生まれている

豊専未来会議2022年計画案

2022年のゴール

マネジメント層と職員の溝がなくなりはじめたことで、職員が働きやすく、働きがいがある状態が作られはじめた
教育理念や学校目標、行動指針が全スタッフに浸透したことで、学校や生徒の未来について対話の機会が生まれている！

2022年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベント	入学式 新入生のトラブルが発生しやすい時期	三者懇談 中高連絡会	学年行事 校外研修 体験学習	体験学習 後半：夏休み 専門課程の AO入試スタート(10月まで)	体験学習 職場実習 後半まで：夏休み	前期テスト 前期終了 成績出し 高等課程就職 活動スタート	いばら祭 中高連絡会	体験学習 学年行事 (修学旅行)	雪害対策 三者懇談 学校評価	高等課程入試	後期テスト 後期終了 成績出し 支援会議(3月末まで)	卒業式 終業式 アッションジョ
オープンキャンパス 月1回程度(専門課程の認知の機会)												
生徒たちの状況	校長面談		ボーナス		業務過多	校長面談		ボーナス		業務過多	業務過多	
職員会	職員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会/生徒理解委員会											
学年会/教科会												
プロジェクト	プロジェクトN(もう少し早くやりたい)											
科省委託事業計画書提出	下旬：スタート		中間報告のまとめを準備する必要がある		中間報告		発表会					
アンケート調査 荒井先生の関わり	アンケート 今期取ったものの 結果		結果の共有/幹部で扱うこと/決定/先生たちに ディスカッションさせたいこと/決定									
とよせん 未来会議	4/27 13:30-14:30	5/11 13:30-14:30	6/22 13:30-14:31	7/27 13:30-14:32	8/24 13:30-14:33	9/21 13:30-14:34	10/12 13:30-14:35	11/30 13:30-14:36	12/21 13:30-14:37	1/25 13:30-14:38	2/8 13:30-14:39	3/15 13:30-14:40
幹部	必要により幹部MTGの開催 戦略会議 週1-2回×50分											



会議内容のフィードバック

そもそもとよせん未来会議とは…

昨年度より「生徒、学生にとって安心・安全な学校を作る」ために「学校のあり方を見直そう」という事でマネジメント研修などをしてまいりました。昨年度、土台作りという成果があった反面「何をやっているのかわからない」とのご意見を皆さんからいただきました。

より開かれた場で皆さんと対話をする事で、生徒学生にとって安心安全な学校を作っていくという考えから今年度、計画を事前に示し、参加したい方がより参加しやすい様にしています。



ここで働く全職員の皆さんが対象ですので皆さんの参加をお待ちしております。

その第4回が行われましたのでその様子をまとめました。是非ご覧になってください！

暑中お見舞申し上げます。
暑い日が続きます。
皆様ご自愛下さい。



学校の行事を加味した通年の会議日程の設定

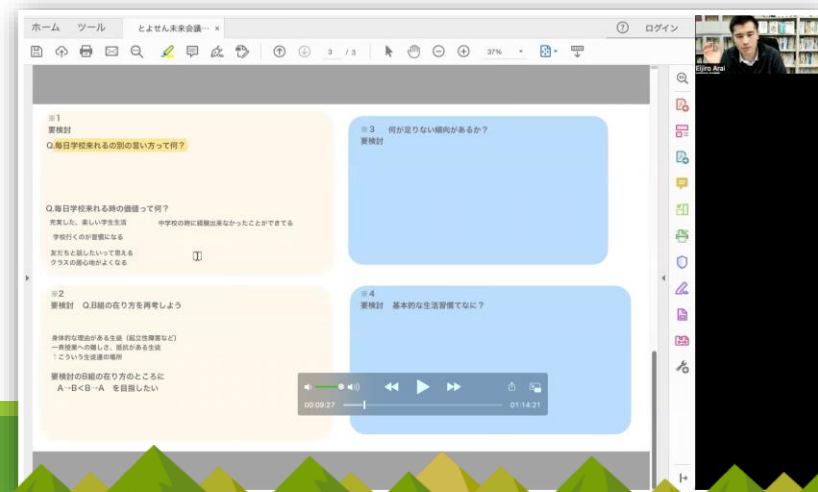


外部識者を入れたプロジェクト進行

本会議を進めるにあたり学校内職員のみで進行するのではなく、左記の二人の外部識者を会議に加え進行した。様々な角度から議論し会議設計、会議進行する事で議事内容の形骸化、議論の一般化が起こらないように会議設計した。また、本会議が行われる前段階で、会議の進捗、校内の状態、職員の状態を荒井先生、志村氏両名に伝えることでタイムリーかつ効果的な会議を1年を通して行う事が出来た。また8月からは学校関係者が会議を運営する事を目的とし、両者の同席を外し会議設計、アドバイスに関わってもらった。

10月に【とよせん未来会議コアメンバー】を募り、教育目標や目指す生徒像を議論する際のたたき台を作るための【コアメンバーMTG】を設置。このMTG自体も両名のアドバイスによるもので、会議の停滞化を防ぐことができた。【コアメンバーMTG】では、今まで本校で議論されてこなかった内容を議論してきた。例えば「学校に来る価値とは？」など質問に対して議論することで「学校に来るということが当たり前なのだ」ということを改めて見つめ直す、従来よりもう一つ進んだ段階の内容を議論する事が出来た。荒井先生からの現在の教育が目指す方向などが示されるなど、校内外の意見を取り入れながら議論する事ができた。反面、現業務上直面している課題との間に差があることもわかり、さらなる話し合いと対話が必要とされる。

オンライン打合わせの様子
オンライン会議の多用により
情報共有の回数と密度の
確保が可能になった



今年度は、スタッフに対するアンケート調査の実施を通じて、定量的なデータの結果から組織の「今」を可視化しながら対話をしていく土壌を築くことができたと思われま。

今後は、「心理的安全性」の確保を意識したスタッフ間の「対話」の機会を積極的に設けるだけでなく、学校づくりの当事者でもある生徒自身の声を反映していく仕組みを構築し、持続可能な組織づくりを進めていかれることを期待しています。



荒井英治郎さん
職業 | 大学教員
職場 | 信州大学 教職支援センター



志村麻由子さん
職業 | 組織育成コンサルティング
職場 | 株式会社 compass 祿

今年度の取り組みでは特に2つのことに注力しました。

- ・自分たちで運営をする
- ・職員の意見を取り入れ、巻き込んでいく

この事に注力した結果、学校行事のある中でも活動を継続し続けることができ、更には学校運営に必要な教育理念や行動指針を見直したいと志願するコアメンバーたちが生まれ豊野学園が自分たちの力で変化を初めるという成果が手に入ったのだと思います。



「 成果 」

OUTCOME

- ✔ 学校、職員の在り方が変化したことで、生徒の相談しやすさが増した
- ✔ 学校や生徒の未来について教職員同士の対話の機会が増えた
- ✔ 教職員が働きやすく働きがいがあると感じられる場面が増えた
- ✔ 本校における教育理念・教育目標・行動方針の本質を見直す機会ができた

「 課題 」

ISSUE

- ✔ 全生徒の安心安全を守る学校の在り方の構築が必要である
- ✔ 教育目標・行動方針に明確さがなく、本校の実態の即したものを構築する必要がある
- ✔ 管理職と職員、教職員同士の価値観の統合の機会がより必要である
- ✔ 月一回1時間という中で研修やワークなどの実施が出来なかった



【自己成長を感じられる自己評価軸「ロードマップ」】

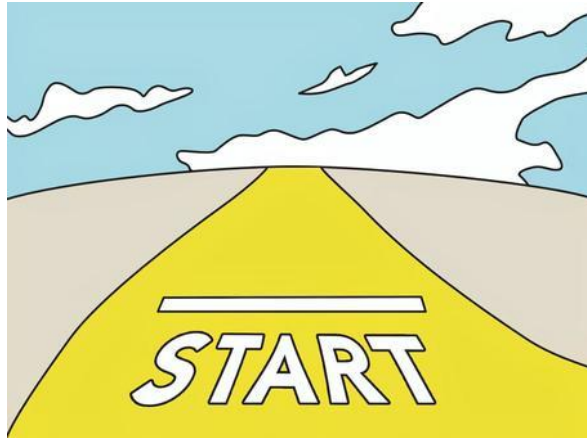
実施概要

CONTENTS

- ✓ 生徒自身が「なりたい自分」を掲げ、自身の軌跡を辿ることで自己成長を感じることができる評価軸「ロードマップ」の実証
- ✓ 各学年生徒にヒアリングを行い、検証



なりたい自分をめざすための ロードマップ



年 組	名前	
-----	----	--

なりたい自分をめざすためのロードマップ 【記入例】

【 自己紹介 】	
好きなこと・興味があること ・身体を動かすこと ・電車のことなら誰にも負けない ・スポーツを見ること ・バイオリン ・三味線 ・読書（推理小説大好き） ・Eスポーツ	苦手なこと ・人前で発表すること ・自由にしていいと言われること ・自分の考えを書いたり、感想文などを書くこと ・大きな音や声 ・さわぐこと
長所 ・よく笑うこと ・すぐにクラスの人の名前を覚えること ・提出物は提出期限を守る ・誰とでも公平に接する ・整理整頓、きれい好き ・我慢強く待てる	短所 ・ちょっとした一言でよくよしてしまう ・短気で直ぐに怒ってしまうところ ・言葉遣いが悪い ・自己中なところ ・つい一言余計なことを言ってしまう

【 私はこういう人になりたい 】 ・中学校の時、人前で堂々と発表している友人をカッコいいと思いました。自分も人前で堂々と話せる人になりたいです。	【 10年後の自分はこうなっていたい 】 ・まだよく分からないけど、人の役に立つ仕事をしていきたいです。 ・介護施設で利用者さんから頼りにされる人になりたいです。
--	--

【 目標を達成するために実践すること 】	
・生徒会の選挙に立候補したい ・授業中に積極的に発言したい ・グループ学習では進んで意見を言いたい ・普通に挨拶できるようにになりたい ・掃除を最後まで頑張りたい ・補習にならないために欠席しない	・中学のときは、授業になかなか出席できなかったため、授業を休まずに出席する。 ・苦手な数学で平均点取りのために、分からないことは質問する。 ・テスト範囲が配られたら、テストまで毎日1時間以上はテスト勉強する。

【 実践できていること 】	
・少しずつ発言できるようになった ・日直の仕事がしっかりできるようになった ・清掃分担を時間いっぱい一生懸命きれいにしている ・無遅刻無欠席を継続している	・困っていることを友だちに相談できた ・英語の分からないことを先生に質問できた ・苦手な体育を一度も休まずに出席できた

【 もう一歩だったこと 】	
・初対面の人と話すときどうしても上手く話せない ・挨拶や日直の時の進行のとき、声がまだまだ小さいと思う ・清掃がどうしても面倒で取り組みが不十分だ ・苦手な科目に対してどうしてもやる気になれない	・自分の誤解だと思うけど、友だちのことを悪く言ってしまったことがあった。 ・美術の課題が提出期限までに間に合わなかった。 ・少し欠席が増えてきた。補習にならないか心配だ。

【 級友や先生方からのアドバイス・指摘されたこと 】

級友から	級友から
<ul style="list-style-type: none"> ・最近、積極的になったね、と言われて嬉しかった。 ・テスト結果を友だちと競い合っていて、ヤル気になった。 ・大したことではないけど「ありがとう」って感謝されて嬉しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることを友だちに相談したら、親切に聞いてくれた ・体育の時、先輩と仲良くなれて嬉しかった ・英語の発表したとき、友だちから「とってもわかりやすかったよ」って言われた
先生方から	先生方から
<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセラーの先生から、検査することをすすめられたので、次に通院したときに先生に相談してみようと思う。 ・前期の通知表の所見に「しっかりしているの自信をもって取り組もう」と書かれてあった。嬉しかった。 ・頑張ったつもりだったが、うまく発表できずに先生から「次に期待しています」と言われた。くやしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の先生に質問に行ったら、とても分かりやすく教えてもらった。これからも質問に行こうと思う。 ・作品を見せに行ったら「すごいだね！」と言われた。もっと頑張ろうという気持ちになった。 ・清掃を普通にやっていただけなのに「ありがとう」と言われた。嬉しかった。 ・自分のことを信じてもらえてないのかな。。。と思うことがあった。悲しかった。

【後期にまたは次年度に活かしたいこと】

<ul style="list-style-type: none"> ・前期は欠席も少なく、授業に対しても真面目に取り組めた。この調子で後期も頑張りたい。できれば、授業にはもっと積極的に取り組みたい。 ・最初はよかったが、夏休み明けから欠席が増えたりしてきた。友だち関係も少し不安になることがある。はやめにカウンセリングの先生に相談していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期よりも授業に対して意欲的に取り組めたいし、課題の提出も期限を守って提出できた。 ・自分が思っていたよりも通知表の評定が低かったので原因を考えていきたい。 ・就職先を決めることが出来た。4月からは東京で一人暮らしが始まる。不安もあるけど何事も自分に責任をもって生活した。
---	---

【 学習・レポートへの取り組み 】

前期の目標	後期目標
<ul style="list-style-type: none"> ・補習が1教科もないように準備を早めにしていきたい ・苦手な英語の得点を何とか平均点とりたい ・レポートを9月中には終わらせたい。 ・今年こそ、漢検や英検にチャレンジしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定試験を全教科1回で合格させたい ・8教科で、650点以上を取りたい ・学年で10番以内をめざしたい ・単位を一つも落とさずに卒業したい
反省と今後への展望	反省と今後への展望
<ul style="list-style-type: none"> ・取りかかりが遅くなってしまい、思うような点が取れなかった ・もっと計画的にテスト勉強をやるべきだった ・苦手な教科はほとんどやらずにテストに臨んでしまい、結果は最悪だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートへの取り組みは順調だが、美術のレポートがまだ終わっていない ・単位認定試験も無事に合格できた。頑張ってきたかいがあった。 ・1単位も落とすことはなさそう。よかった。

【 行事への取り組み 】

校外学習	体育祭
<ul style="list-style-type: none"> ・レクレーション係として、バス内レクを盛り上げた ・グループ行動思うように上手くいかなかった。この反省は次の妙高にいかしたい。 ・時間を守れて行動できて良かった。 ・〇〇さんって意外に話し好きで驚いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールに出場 ・メンバー決め大変だった。でも、〇〇君が「やる」って言ってくれて何とか決まった。〇〇君に感謝 ・普段はおとなしいと思っていた〇〇さんがドッジボールですごいボール投げでびっくり。
いばら祭	宿泊行事
<ul style="list-style-type: none"> ・友人に勧められて「裏ミス」に出場した。すっごく恥ずかしかったけど、でも楽しかった。挑戦してみてもよかった。 ・最後のいばら祭が終わった。寂しい・・・ ・ステージ発表みんなよかった。ああやって自分を表現できる人がうらやましい。自分には無理だな。。。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行く前は「やだな」と思っていたけど、参加してみたらこれまで話せなかった人と話せたりして、意外に楽しかった。参加して良かった。 ・ホテルの部屋割りがなかなか決まらなかった。自分が我慢した方がよかったのかな・・・

【 自分の足跡 】

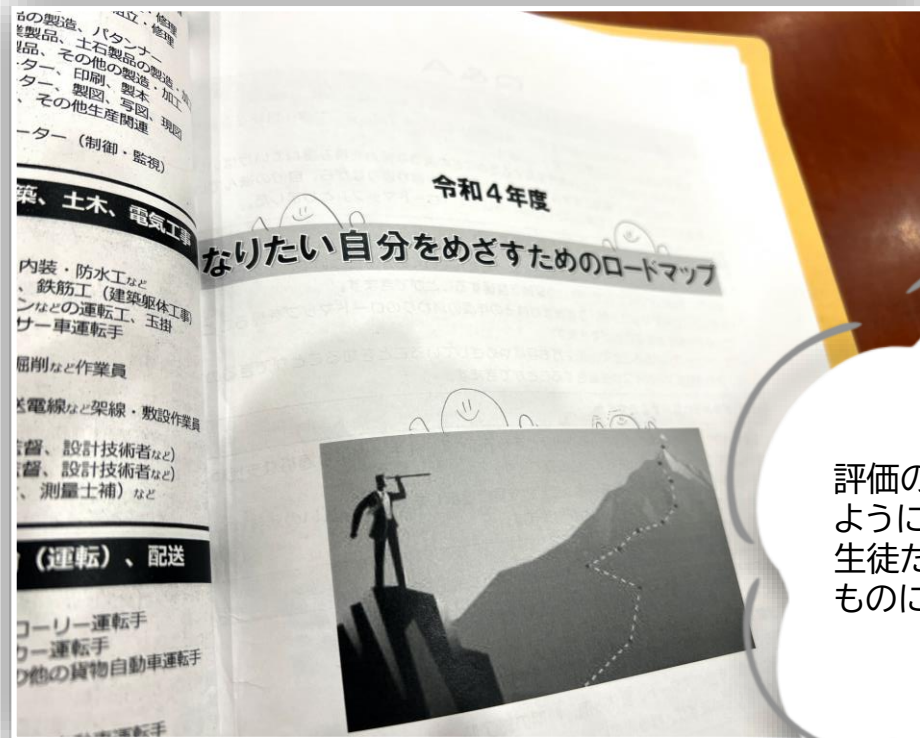
記入日	記入日
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定3級合格 ・夏休業中にアルバイト ・豊野地区のボランティア活動に参加 ・バドミントンの大会に出場。1回戦突破 ・〇〇学校のオープンキャンパスに参加 ・企業説明会に参加 ・就職試験のための面接練習実施 ・塾の模擬試験受験 ・席替えがあり、良い席になった ・PC検定の結果がわかった。2級合格！やった！ ・〇〇幼稚園で職場実習 ・人生初、テスト100点取った！！！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会長に立候補することを決めた ・生徒会長選挙は落選だった。。。でも挑戦したことは無駄ではなかったと思いたい ・大学共通テスト受験

【 GOAL 】

変わったところ	先生から
<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけられることが多かった自分が、自分から声をかけることが出来るようになりました ・隅にいることが多かった自分が、自分で考えて人前でも発表できるようになったことです。 	

自己成長を感じることができる評価軸「ロードマップ」の実証

昨年度、作成した自己成長を感じることができる評価軸「ロードマップ」を用い、実証を行った。年度当初に、奥田副校長よりロードマップを作成した際の目的と根拠を説明し各担任より生徒に配布された。前期当初に再度アナウンスし、振り返りの機会を設定した。評価のための評価にならないもの、生徒自身が「なりたい自分」を掲げ、自身の軌跡を辿ることが出来るよう各クラスで使用方法を模索しながら進めた。



評価の為の評価にならないように触れる機会を増やし生徒たちが親しみやすいものになる様な機会とした。

3 学年

このクラスでは教室の取り出しやすい場所に【ロードマップ】を配置し、いつでも取り出しやすい環境を作り形骸化しない取り組みを行った。

2 学年



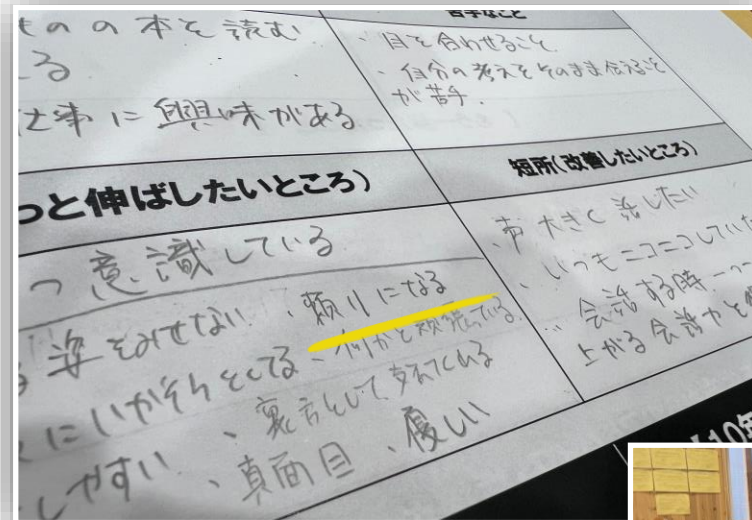
各学年生徒にヒアリングを行い検証

各学年生徒に実際使用してみたの感想を、さらなる効果的なものを作る目的でヒアリングした。結果に関しては以下の通りである。また、職員にもヒアリングを行い使用感、良い点、悪い点などを調査した。クラス毎の取り組みのばらつきが見られる。担任職員への【ロードマップ】の目的の浸透不足が原因と思われる。

職員へは「目的の浸透」を行い、生徒へ目的を明確する情報伝達が必要である。成果が起きているため是非来年度続けていきたい。

- ・頭の中で考えていると、自分の好きな事は浮かぶけれど、苦手な事は中々出てこなくて実際に書き出すことで認識することが出来た。
- ・自分の性格など客観的に自分を見ることが出来て面接の時に非常に役にたった。
- ・自分に対する評価が低めだっことを知ることが出来た。
- ・自分が長所だと思っていない部分を友だちに言われて驚いた。「頼りがいがある」というのは自分では全く思っていなかったが、友達に言われて「そうなのかもしれない」と思うことが出来た。そんな風に思われているんだと知ることによって、クラスにいやしくなった。
- ・3年のこのタイミングが良かったかもしれない。1年の時は自分の事は知りたくなかったと思う。今は知れてよかったと思っている。
- ・自分の中の当たり前が人から見て長所なんだと知ることが出来て、自信になった。
- ・【ロードマップ】の振り返る期間が長い。毎日色々あるから、前期後期は長い。2ヶ月に一度が良いと思う。
- ・目標を書いても忘れてしまうので、掲示したりして目に入るような風になるといい。自分たちのクラスは掲示物として貼ってあってよかった。

3学年 女子生徒



面接の時に
自分の性格を
「頼りがいがあると
自信をもって
言えた！」



実施時期が良かったかもしれない。1年次にやっていたらネガティブになりすぎてこの事自体が嫌になっていたかもしれない。生徒が成長した3年次だから良かった面もある。

3学年 担任職員

進路先が求める カリキュラム策定

1) ニーズ調査

2) 実証講座

(生活情報コース / 生活服飾コース / 生活美術コース / 生活介護コース)

3) 訪問調査 / 4) 卒業生からのヒヤリング

1)カリキュラムニーズ調査

◆長野県を中心とした専門学校にWEB調査を実施 (対象校数:34校)

- ・各専門学校での授業内容について

「主体性」「創造性」を身につけるために、一方的な授業ではなく、実体験やディスカッションを行う授業を取り入れている傾向がある。

- ・本校生徒に求める資質、在校中に学ぶべきこと

特に必要はないが、あえて言えば

社会で必要とされる「他者と協同する力」

実証講座(生活情報コース)

- 情報コース:匠電舎様によるPythonプログラミング実習 (自動販売機シミュレーター作成)
- 美術コース:岡学園トータルデザインアカデミー様によるAdobe Photoshop入門、VR入門、Adobe After Effect入門、デザイン作成講座



実証講座(生活服飾コース)

- 服飾コース:メーク株式会社様によるウオーキング講座
- 介護コース:フィットリフレによるフットセラピストベーシック講座、メイクケア講座、アロマ講座



2) 専門学校訪問調査

● 近隣の専門学校に訪問し、WEB調査以上のより具体的な意見を収集

- 貴校の指導の考え方、カリキュラムの内容について
- 本校の進学先として本校に必要なカリキュラムとは(一般・専門)
- カリキュラムに期待すること
- 身に付けて欲しいチカラ、スキル
- 指導(学校職員)に期待すること

● 訪問調査実施校(4校)

岡学園トータルデザインアカデミー様、長野美術専門学校様、大原学園様、黒木学園様

ヒヤリングから

本校へのエールをいただいた
他

学校独自の進路に関する取り
組みや学ぶべき視点など

カリキュラムではないが

『学校のあり方』の事業に通じ
るものもいただきました

【進学先となる各専門学校から】

教職員

- ・教職員研修
- ・企業人講師をもっと増やして
- ・校内研修と交流、意見交換の場を増やす
- ・円滑に仕事を進めるためのルール順守

授業構成・カリキュラム

- ・豊野学園の個性をもっとだせたら
- ・グループワークや協働作業
- ・設備の充実(使いこなせなくてもよいが使えるように)

生徒

- ・自分で伝えるチカラ＝社会性
- ・週5日通学できる体力、体調管理
- ・他者を認められる、相互理解
- ・コミュニティーの拡張

「生徒にとっての強み」を明確に

3) 卒業生意見の集約

- ・社会人になるための、基礎知識を学べる授業
 - ・やりたいことを見つけられるような授業
 - ・企業を知れる授業があってから職場実習したい
 - ・先輩後輩との交流の機会が欲しい
 - ・もっと厳しさがあっても良い(挨拶、礼儀、敬語)
- (洋裁・和裁)外に出て企業とか仕事に触れる機会があっても良かった
- (情報)プログラミングは難しかった選択できると良い
- (介護)基本の倫理は時間をかけゆっくりやって欲しい
- 忘れてしまいがちなので、小テストを入れて欲しい

- ・色々な場で前に出て話す機会は自信に繋がってよかった。
- (情報)今の職場で既存のフォーマットにすぐ反映させることで良かった。
- ・教える側に立つ機会が良かった。
 - ・PC操作で戸惑うことなく業務ができている。
 - ・専門の授業数は丁度よかった
- (美術)イラストレーションやデザイン・VRの授業は端末が使えて面白かったし基本が理解できた。
- (和裁)静かな雰囲気良かった。

来年度導入予定授業

前年度本年度の調査結果をもとに検討し、来年度カリキュラムにおいて改善反映させる内容

- ◆服飾和裁・・・ミシンでの制作
- ◆服飾洋裁・・・文化式の導入
- ◆介護・・・実務者研修以外の授業(フットセラピスト講座、メイクケア講座、アロマ講座)
- ◆美術・・・情報端末を使用した授業の導入(岡学園トータルデザインアカデミー様との連携)
- ◆情報・・・企業、専門学校との連携による講座(検討中)
- ◆一般科目・・・情報コース以外の生徒への情報教育(2, 3年生)

新カリキュラム案策定の状況

専門学校・企業へのWEB調査結果
各コースでの実証講座
専門学校ヒアリング内容
本校現カリキュラムの問題点改善点
卒業生の意見を集約
職員会にて報告及び提案(R5年度)

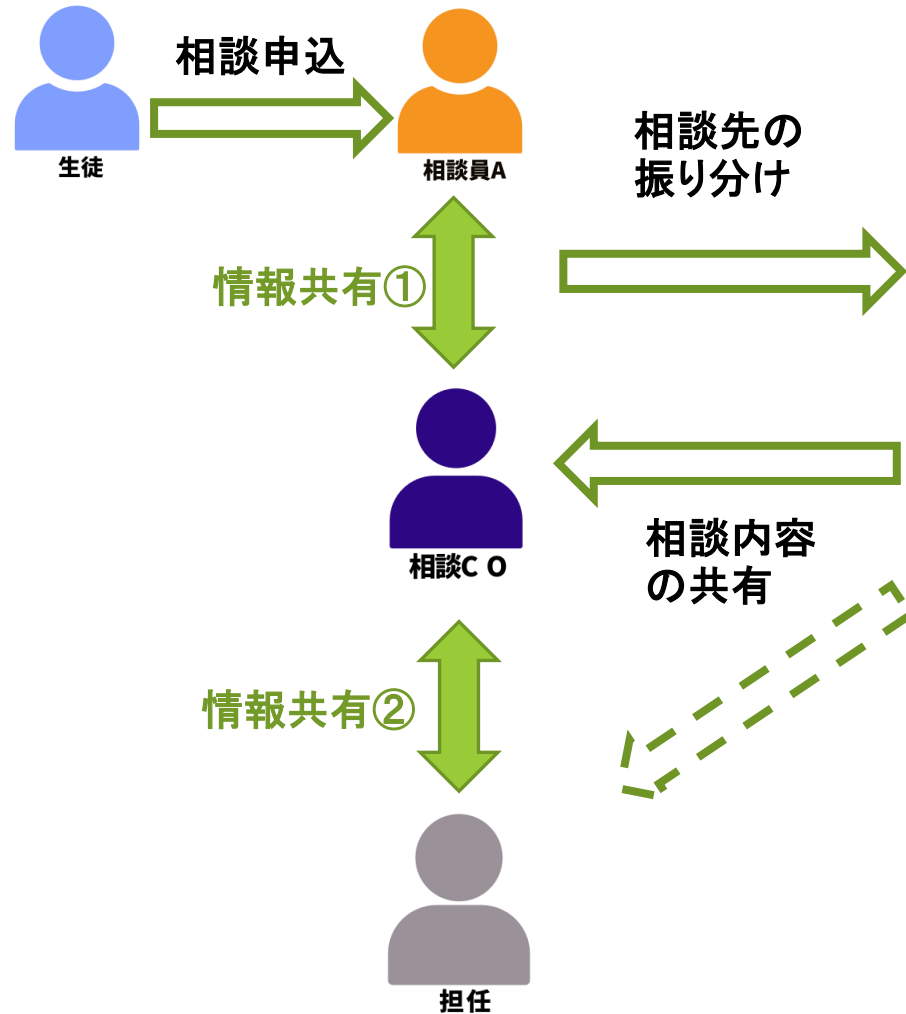


新カリキュラム案を策定(R5年度)

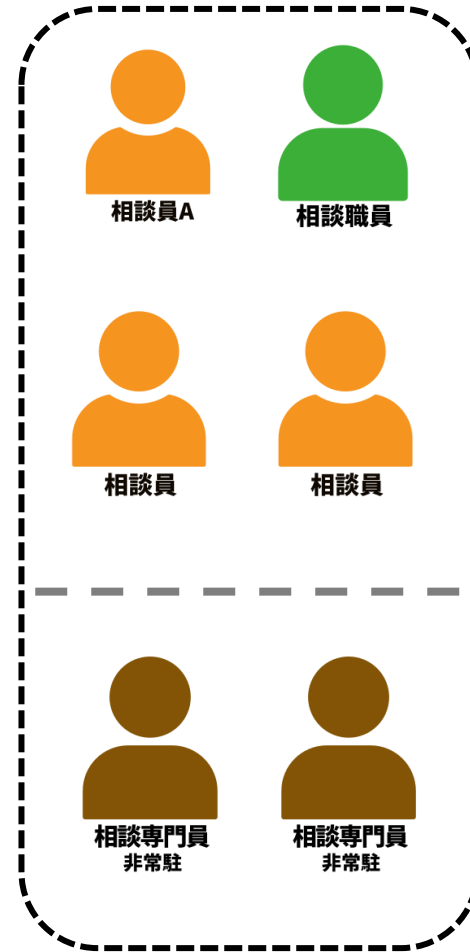
誰もが相談しやすく 学校で支えるしくみ

R4年度活動まとめ

R3年度の相談体制



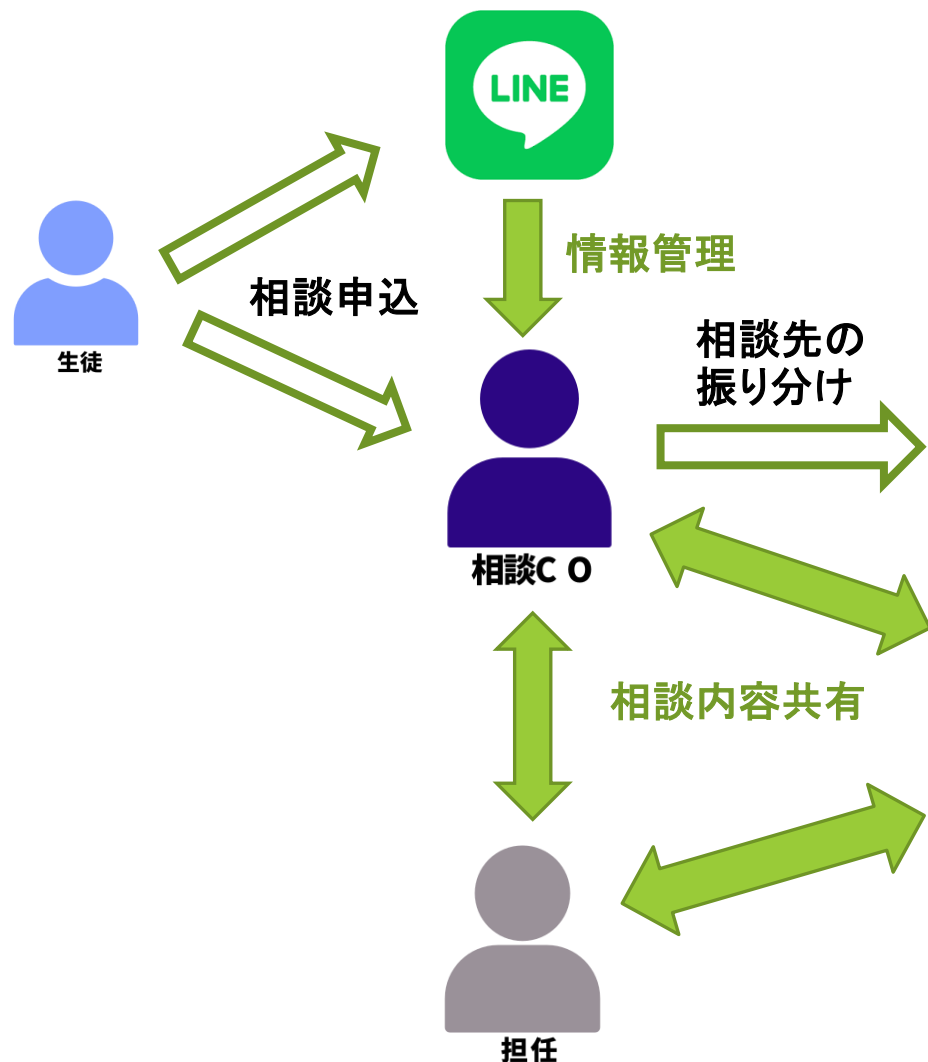
相談の実施



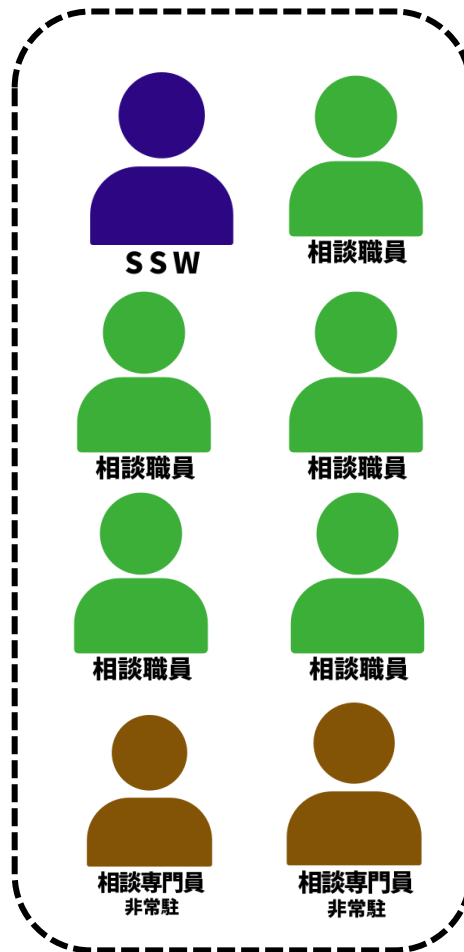
課題

- ・生徒が相談申込みを行う際、学校生活の中では関わりが少ない相談員Aに申し込む必要があった。
- ・相談員Aが相談の受付と相談の実施両方を行っていたため、相談先が相談員Aとなることが多く、生徒の相談内容に沿った適切な相談先とならないケースがあった(相談専門員との連携が機能しなかった)。
- ・相談員のほとんどが本校職員ではなかったため、生徒担任に直接情報共有するということが上手くいかず、担任は相談コーディネーターを通して生徒の情報を受け取る機会が多かった。

R4年度の相談体制



相談の実施



メリット

- ・Lineによる申し込みが可能となったことで、生徒は自分のタイミングで24時間365日相談を申込みできるようになった。
- ・相談員を教科担任等の本校職員が担当することで、担任への情報共有がスムーズとなり日頃生徒の様子で気になるところがあれば、連携して関わることが出来るようになった。
- ・SSWが配置されたことにより、外部との窓口が一本化され、担任の負担が大きく軽減した。
- ・相談コーディネーターによって適切な相談先への振り分けが可能となった。

課題

- ・学校閉庁時に相談申込があった場合、相談の日程調整等を行うことが出来ない。
- ・公式Lineを継続して利用するには費用が掛かる。



学校公式LINE



- 教育相談申し込み機能
- 生徒手帳
- クラス別チャット(連絡ツール)
(・生徒会からのお知らせ)

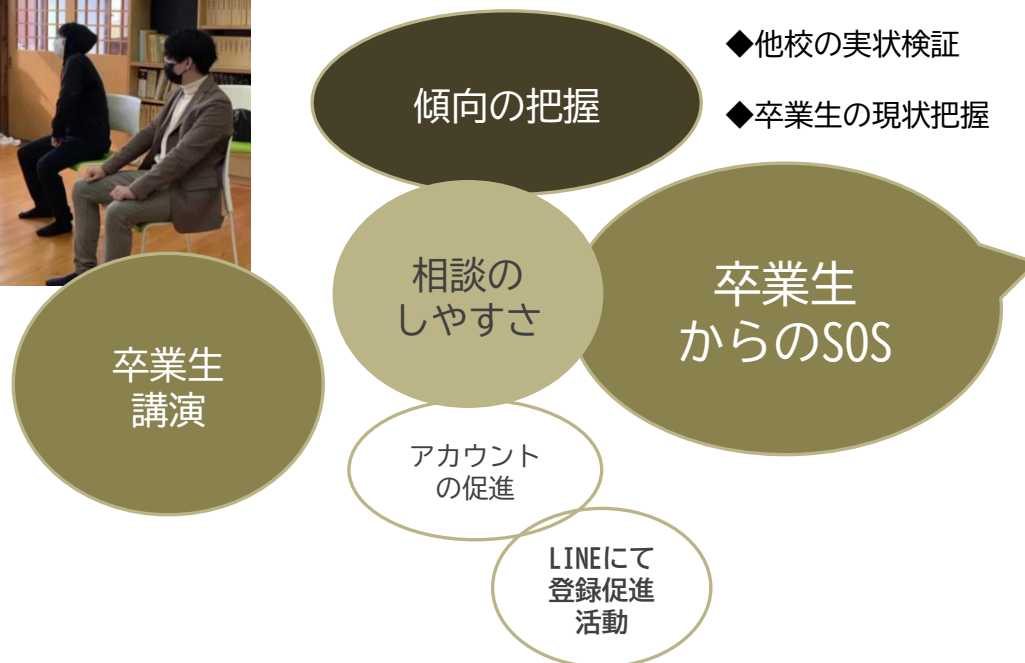


卒業生を支えるしくみ

R4年度活動まとめ



今年度の活動



- ◆会社もうやめてきた！
- ◆学校行けなくなって家から出てない
- ◆辞めたい、死にたい
- ◆給料明細の見方わかんない
- ◆決められない、どうしたらいいの？
- ◆親とケンカした！家出たい！
- ◆親にはもう頼れない
- ◆先生に会いたい！しゃべりたい！
- ◆後輩たちと会いたい
- ◆ねえ、きいてーーーー！
- ◆保護者からの相談
- ◆社会人〇年目だけど大学行って〇〇になりたい！
- ◆やっぱり夢を追いたいから進学したい！
- ◆先輩に進路のこととか何でも聞いてみたい！
- ◆誰かうちで働ける人いない？？（現管理職）
- ◆福祉機関から卒業生に関する問い合わせ

課題

- ◇校内検証の必要性
- ◇多様な個性に対応するためのノウハウの必要性
- ◇LINEを活用したフローチャート

ビジョンに沿った
卒業生の学校体制づくり



昨年度卒業生のサポート事例



困り感を抱える子どもを 支えるための 自治体との連携

R4年度活動まとめ

令和4年度の活動と成果

- ◆須坂市教育委員会の学校訪問
- ◆須坂市教育委員会との連絡協議会(1回)…情報共有、課題、支援手順
方向性の確認
- ◆支援体制構築にあたり共通理解を得る
- ◆市教育委員会子ども課との懇談会(12/4)
- ◆須坂市ものづくり人財育成ネットワーク」より4企業の代表者が
学校見学で来校(2/3)
- ◆2学年校外学習にて連携都市の地域活用
- ◆イベント参加協力(生徒職員の有志)
- ◆クラス単位で企業見学
- ◆インターン実施(7月)



検証

- ◆進化してきている
- ◆成文化することで整理され、共有していくことが重要
- ◆将来を見据えた情報共有のあり方
- ◆取り組み等の情報発信を

困り感を抱える子どもを支えるための自治体との連携

- ・モデルケースの必要性
- ・支援体制の確認と可視化の必要性
- ・十分な理解の必要性があり生徒の意向に沿う支援ができることが重要

誰もが相談しやすく学校で支えるしくみづくり

- ・生徒が能動的に行動できるツールができた
- ・他の柱となる事業と連動されており相乗効果もみられるか
- ・談方法を選択できること、体制が可視化されていることで安心につながっている

卒業生を支えるしくみの検討

- ・卒業したら、させたら終わりではない
- ・働く卒業生を支えるためには続けていくことの大切さがある
- ・専任者がいないと難しいのでは

学校のあり方・運営検討

【みらい会議】

- ・コミュニケーションの高まりや生徒の意見収集できている部分を評価したい。
- ・「学校」の機能は集う集団の良さがあるためこれを活かすには充実した教育が必要である

【自己評価軸】

- ・形骸化しないようにしている取り組みがあるが、ロードマップを活用できる機会をつくることで防ぐことができる。
- ・担任の介入が必要になり個性は出る
- ・自分を知る重要な要素であり日常的指導のほか進路にも活かせるものを

カリキュラム策定

- ・学びなおしができる事も含め「勉強ができない」という思い込みの子に学びのチャンスを与える場であって欲しい
- ・あらゆる調査が行われている
- ・カリキュラムを作成する教職員視点のみではなく、出口と卒業生からヒヤリングができている部分を評価したい